

Vol. 166号

2019(平成31)年
1月1日発行

Colony Tokyo

コロニーとうきょう

社会福祉法人 東京コロニー
〒165-0023
東京都中野区江原町 2-6-7
TEL 03-3952-6166
FAX 03-3952-6664
<http://www.tocolo.or.jp/>
(法人本部 事務局)



アートビリティギャラリー 41 田辺綾子さん 『雪だるま』(詳しくは17頁をご覧ください。)

時評

2018 年度上半期事業報告
法人の主な動きから
とびくす

法人本部・コロニー中野・トーコロ生活支援センター・アートビリティ (〒165-0023 中野区江原町 2-6-7)・中野区仲町就労支援事業所 (〒164-0011 中野区中央 3-19-1)・コロニーもみじやま支援センター (〒164-0001 中野区中野 5-3-32)・トーコロ情報処理センター 事業部・職能開発室・デジタルメディアセンター (〒170-0005 豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 6F)・東京都葛飾福祉工場 (〒125-0042 葛飾区金町 2-8-20)・立石工場 (〒124-0012 葛飾区立石 8-50-1)・コロニー東村山 (〒189-0001 東村山市秋津町 2-22-9)・東村山市障害者就労支援室 (〒189-0014 東村山市本町 1-1-1)・東京都大田福祉工場 (〒143-0015 大田区大森西 2-22-26)・トーコロ青葉ワークセンター・トーコロあおば就労サポートセンター (〒189-0002 東村山市青葉町 2-39-10)・国分寺戸倉寮 (〒185-0003 国分寺市戸倉 1-21-9)・東久留米第一氷川台寮・東久留米第二氷川台寮 (〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-22)・東久留米第三氷川台寮 (〒203-0002 東久留米市神宝町 2-14-26)・えはらハイツⅠ、Ⅱ、Ⅲ・中野江原短期入所・中野区日中一時支援 (〒165-0023 中野区江原町 3-23-2)・とよたまハイム (〒176-0014 練馬区豊玉南 2-3-9)・天神山こあらハイツ (〒202-0013 西東京市中町 3-10-9)

時 評

節目にあたって

理事長 中村 敏彦

はじめに

新年 明けまして

おめでとうございます。

皆さまと共に無事に新年を迎えられますことを素直に喜び、日頃よりご理解、ご支援いただいていますことに心より感謝申し上げます。

今年は、平成に代わる新しい元号が定められる年となります。30年という平成の歴史は、私たちの分野においても激動の時代でありました。

1976年、国連第31回総会で、1981（昭和56）年を国際障害者年と指定し、テーマを「障害者の完全参加と平等」と掲げることが採択されました。これを機会に、国内関係者の連帯と団結を築き、障害者施

策も大きく動き始めます。この国際基準は平成の時代にも確実に引き継がれました。私たちを取り巻く環境は、多くの課題を抱えています。節目を迎えるあたり、改めて30年を振り返ってみたいと思います。

国内の障害者施策の主な歩み

平成1（1989）～5年

知的障害者のグループホームが制度化／福祉関係8法（在宅福祉サービスの法定化、身体障害者福祉関係事務の市町村への一元化等）が改正／「情報処理機器アクセシビリティ指針」の策定／「障害者の雇用の促進等に関する法律」（重度知的障害者の雇用率制度におけるダブルカウン

ト等）が改正／社会福祉事業法等（福祉人材確保のための基本指針の策定等）の改正／精神保健法（精神障害者の定義の改正、社会復帰のための事業の規定、資格制度の緩和等）を改正／障害者基本法（障害範囲の明確化、障害者の日を規定、障害者計画の策定等）が公布

平成6（1994）～10年

国際障害者デーにちなみ「障害者週間」を設定／「精神衛生法」から「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」へ改正／「盲学校、聾学校及び養護学校施設整備指針」が策定／「障害者の雇用の促進等に関する

法律の一部を改正する法律」が成立／アジア太平洋障害者の十年中間年「障害者の日」記念の集いを開催／「特定非営利活動促進法」が成立／長野パラリンピック冬季競技大会が開催／「精神薄弱の用語の整理のための関係法律の一部を改正する法律」が公布

平成11（1999）～15年

第1回精神保健福祉士国家試験の実施／「鉄道駅におけるエレベーター及びエスカレーターの整備指針」が策定／「成年後見制度」の改正／「介護保険法」が施行／「道路交通法」（障害者等に係る自動車等の運転免許の欠格事由の見直し）が改正／「障害者等に係る欠格事由の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の成立／「身体障害者補助犬法」の成立／身体障害者及び知的障害者の福祉サービスが「措置制度」から「支援費制度」に移行／「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行ったものの医療及び観察等に関する法律」の成立

平成16（2004）～20年

「障害者基本法の一部を改正する法律」（差別禁止理念の明示、障害者の日の障害者週間への拡大、都道府県・市町村障害者計画策定の義務化等）が成立／「発達障害者支援法」（平成17年4月1日施行）成立／「公務部

門における障害者雇用ハンドブック——誰もが生き生きと働ける職場を目指して——が公表／「障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律」が成立／「障害者自立支援法」が成立／「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱」が決定／「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」が成立／「身体障害者補助犬法の一部を改正する法律」（一定規模以上の民間企業での受入義務化）が施行

平成21（2009）～25年

障がい者制度改革推進本部を設置することを閣議決定・後に骨格提言をまとめる／「地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律案」が可決／「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」が可決／障害者の法定雇用率を引き上げる政令が公布／「障害者虐待防止法」が施行／「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律案」が可決

平成26（2014）～30年

「障害者権利条約」を国会で承認・後に批准／「難病の患者に対する医療等に関する法律」が成立／「障害を理由とする差別の解消の推進に関

する法律」が施行／「障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律」の一部（障害を理由とした差別の禁止、合理的配慮の提供義務）が施行 など

（平成29年度障害者白書より編集）

随分と多くの創設や改正がありました。とりわけ、措置制度から支援費制度に切り替わる時や国連で障害者権利条約が採択され、その批准を目標とした前後の動きには気を緩める事が出来ませんでした。障害の概念も人権尊重や他の者との平等を基礎として、保護の対象から権利の主体へ、そして、医学モデルから社会（人権）モデルが重要視されるようになりました。

制度は徐々に成熟しているけれど、すべての人は人として、むしろ当たり前にあるべきであり、法や施策で定めなければそれが実現しない、あるいは定めても国民意識に根付いていかなければならないと思えます。

当法人の主な歩み

昭和の時代は、1968（昭和43）年、社会福祉法人認可と共に、コロニー授産所を開設し、その後、コロニー印刷所の開設、東京都葛飾福祉工場の運営受託、東村山作業所やコロニー東村山印刷所の開設、東京都

大田福祉工場の運営受託、公益事業として情報処理部門を設立、障害者アートバンク（現アートビリティ）を設立するなど、就労を中心とした新しい事業展開に尽力しました。

平成に入ってから、平成2年にトーコロ青葉ワークセンターを設立、平成7年にはトーコロ青葉第二、第三ワークセンターを開設し、平成9年には、国分寺戸倉生活寮を開設、平成11年には、デジタルメディアセンター、職能開発室を開設しました。当時は身体障害者の施設でありましたが、相互利用制度が施行されてからは、障害種別を問わない体制づくりに努力し受入れを開始しました。

平成14年には東久留米氷川台（第一、第二）生活寮、コロニー東村山第二印刷所を開設、コロニー中野をはじめに入所施設を通所に順次変更していきます。今思えば、入所施設があった頃は、仕事が終わると食堂で麻雀が始まり、時にはみんなで外に出かけたりと、プライベートのお付き合いも盛んでした。

平成17年にはトーコロ生活支援センター（居宅介護部門）を開設するなど、さらに生活面を支える事業を拡大しました。平成19年は、これまでの授産施設は障害者自立支援法を根拠とした障害福祉サービス多機能型に移行することとなります。

この法が施行される前にグラントデザイン案が示されますが、その時の支援者、利用者、契約などの用語や仕組みには、とても違和感を覚えたものです。

平成20年には、中野区から中野区精神障害者社会復帰センター（通所授産施設）を運営受託、平成21年は、グループホーム「中野第一・第二江原寮」、中野江原短期入所も開設しました。平成22年には、コロニー中野で就労継続支援事業A型を開始し、大田福祉工場浜松町工場は城南島に移転しました。平成23年には、中野区より中野区仲町就労支援事業所を指定管理にて受託しています。

平成24年は、東京都大田福祉工場ならびに東京都葛飾福祉工場は、就労継続支援A型を中心とした障害福祉サービス事業多機能型に移行するとともに東京都立から法人運営に変わりました。また、中野区中野福祉作業所を中野区より指定管理にて受託しています。平成25年には、コロニー障害者計画相談支援室（ふきのとう）の開設、平成26年には、東久留米第二氷川台寮にユニット（ピア戸倉）を追加、東京都葛飾福祉工場やコロニー中野でも障害者計画相談支援事業を開始しました。平成27年には天神山グループホーム（こあらハイツ）、トーコロあおば就労サポー

トセンター放課後等デイサービス事業（アリーバ）も開設し、平成30年には、コロニーもみじやま支援センターを開設し、中野第二江原寮にユニット（とよたまハイム）を追加するなど、地域ニーズに対応し、就労支援に加えて生活支援、相談支援、児童支援の事業を展開しています。

振り返れば、30年も早いものでした。その基礎を創っていたいた先達の功績には改めて頭の下がる思いです。法制度は改善を目的に見直されるものと思います。一方で、後を絶たない深刻な事象は現実のものです。制度設計やその背景にも視点を当てる事が重要でしょう。

私たちの事業運営も制度等に影響を受けざるを得ない側面もあります。が、当法人を必要とする人たちの働く場や仕事などをつうじて自立をお手伝いする事業や、生活の場などをつうじて地域で豊かに暮らすことをお手伝いする事業、そして、地域社会への完全参加と平等を目指すという事業目的を再確認するとともに、社会環境の変化やその時節ニーズにしっかりと向き合うことを大切にしたいと思えます。

これまで支えていただいた皆様には、改めて感謝申し上げますとともに、引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2018年度 上半期事業報告

※2018年9月末時点の報告書となります。

1. はじめに

本年度も国際情勢の不安定・緊張は続いています。わが国では、財政改革、社会保障改革、憲法改正、消費税の引き上げなど様々な課題を抱える中、9月に実施された自民党総裁選で現首相の続投が決定しました。国内外の動きには引き続き注視していくことになります。

経済状況は穏やかな景気回復基調の報道が流れ、実感を伴わないという多くの世論から格差社会の深刻さがうかがえます。わが国が国連障害者権利条約を批准してから4年目、障害年金取り消し問題や公的機関による障害者雇用増しが発覚するなど、耳を疑うような問題が顕在化しています。また、新たに策定された障害者基本計画や、報酬改定を含ん

だ障害者総合支援法の見直しにより、経営的にも大きな影響を受け、改正社会福祉法を根拠にした事業運営は厳しさを増しています。

本年度の課題は、激変する社会福祉の環境の変化に柔軟に対応し、障害のある人の暮らしを支え続けられる事業を継続することです。評議員会や監事意見も真摯に受け止めつつ、既存事業の経営改革、事業所の建て替え等に伴う新たな事業を早期に軌道に乗せること、中期事業計画を具現化するために、事業本部制や法人本部の在り方などを継続して検討し、将来の法人像を意識しながら、各拠点が自立した事業運営に最大限努力し、併せて互いに課題を共有しながら、法人全体で協力して取り組むこととしています。

2. 上半期事業結果と年度方針の達成状況

本年度は、加算・減算の仕組みをより強めた障害福祉サービス等報酬改定に伴う影響や、前年度に受けた施設整備補助等による消費税に調整計算が発生することを見込み、不確定な状況下であっても経営に極力影響を受けないよう事業計画を立てました。

上半期の事業結果は、在籍者の推移では表1に示すとおりであり、総人数846名(前年度末811名)で35名増(非常勤嘱託医を含まない)、内障害者は566名(前年度末544名)で22名増、障害者比率は66.9%(前年度末67.1%)となりました。在籍ではない契約者・登録者(表2)1,122名を加えると1,968名の人達に責任を負う組織となっ

ております。就労移行を支援する事業では、上半期での一般就職者は(表1・2合計)43名となりました。期中の法人全体の経営結果は、消費税については想定に反して好転しましたが、就労支援事業では苦戦し、総括決算損益推移表(表3)に示すとおり80,084千円の赤字となりました。

(1)経営の基本方針

・前年度発生した様々な問題を教訓にして、改めて、経営理念や倫理、社会的役割に伴うコンプライアンスやガバナンスを重んじた事業運営に努力しています。

・福祉サービスの質的向上のために、第三者サービス評価機関の審査を受けるとともに、苦情解決第三者委員制度の実施や広報誌やホームページ等による情報開示に努めています。

- ・経営や福祉の専門性を向上すること
を目的とした教育、研修の充実を図り、計画的に実施しています。また、人事考課制度を含めた給与規程の改定を具体的に進めており、人材確保や人材育成に努めています。
- ・法改正や業務改善などに伴い、法人の規程等を必要に応じて見直しています。
- (2)財務・資金管理
 - ・会計顧問の指導を受けながら会計基準により精度の高い管理に努め、さらに外部会計監査人の指導を会計管理に反映させています。
 - ・会計基準の範囲で法人内部の資金を活用し、また、将来必要となる資金については、拠点ごとに認められている範囲で計画的に積立を行う予定です。
- (3)事業の継続
 - ・常に経営改善に視点を置き、継続可能な事業への体質改善に努力しています。
 - ・民営化や老朽化に伴う事業所の建て替えは、法人全体の協力を得ながら完了することができました。新規事業を含めて早期の事業安定を目指し、
- 将来必要となる建て替え等も想定して事業運営に取り組みます。
 - ・BCP(事業継続計画)を全拠点で策定することとしています。
- (4)人材確保・育成
 - ・必要な人材を安定して確保していくための手段として、給与規程改定プロジェクトを設置して検討しています。前年度には新卒初任給の見直しを先行して実施し、全体の見直しについては、プロジェクトによる答申をもとに経営層による各会議において共有し、早期に改定できるよう従業員代表や労働組合と協議しています。
- (5)他の団体との協力連携
 - ・障害者福祉の向上のために、内閣府、厚生労働省、経済産業省ならびに、東京都、各市区自治体、全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、一般社団法人センコロ、特定非営利活動法人日本障害者協議会、全国社会就労センター、日本セルフセンター、東京都セルフセンターなどにおいて積極的に役割を果たしています。
 - ・従業員等が、対外的な立場において十分に役割発揮ができるように、可能な限り配慮し支援しています。

表1 在籍者の推移

自2018(平成30)年4月1日 至2018(平成30)年9月30日

(単位：人)

	前年度末 在籍者数	期中増減				主な減員理由			上半期末 在籍者数
		増員		減員		自己都合	一般就労	疾病、その他	
雇用就労者	98	6	(3)	2	(0)	2	0	0	102
	(78)	(6)	(3)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(83)
事業・施設の利用者	363	40	(0)	23	(3)	11	8	1	380
その他	83	14	(0)	13	(0)	3	0	10	84
障害がある在籍者 (計)	544	60	(3)	38	(3)	16	8	11	566
	(78)	(6)	(3)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(83)
障害がない在籍者	267	21	(3)	8	(3)	5	0	0	280
合 計	811	81	(6)	46	(6)	21	8	11	846
	(78)	(6)	(3)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(83)

- (注) 1) A型従業員については、障害がある雇用就労者に含めた上で下段の()で再掲している。
 2) 増員および減員の各右欄には法人内異動を()で表記している。
 3) 「その他」にはグループホーム利用者・在宅パソコン講習生・放課後等デイサービス利用者を含む。
 4) 在籍者数には非常勤嘱託医を含まない。
 5) 障害がない在籍者の期中の増員には前年度の計上漏れ1名を含む。

(6) 地域活動

・拠点ごとの地域活動においては、各自治体との連携を深め情報交換を密にしながら、地域福祉の向上ならびにニーズに応じた障害者福祉の充実に努めています。

・地域の福祉関連ネットワークには積極的に参画することで、地域の重要な社会資源になり得ることを目指しています。

3. 各事業本部の事業の実施概要

各事業本部ならびに拠点では、就労(受注、生産、販売等)支援事業では利益を出せるよう努力しています。併せて、社会福祉法人に対する期待に応えるためには、福祉の専門性を高めることも重要ですので、サービス管理責任者会議や関係諸会議等で課題や情報を共有し、サービスの質の向上に取り組むとともに、様々な問題解決に取り組んでいます。

(1) 法人本部(事務局)

年間の教育研修計画を確実に実施しています。法人全体の財務運用ならびに、各拠点の事業運営に貢献していくことに努力し、事務処理部門

の連携により的確な情報提供・共有に努めています。プライバシーマークの認証取得法人として、個人番号を含めて、その維持・向上に各事業所と連携して取り組んでいます。また適宜、必要な情報提供、集約に努め、各行政窓口との折衝についても、事業所と連携して対応しています。

(2) 福祉事業本部(グループホーム等、

トータル生活支援センター)

既存の住宅支援事業などを着実に遂行し安定した運営に努力しています。加えて、就労支援事業所の所在する地域のニーズに応じてグループホームの増設を検討し、前年度末に練馬区で「とよたまハイム」を新設しました。引き続き、段階的な拡充に努めるなど、障害のある方たちの暮らしの質を向上できるよう努めます。中野区の特定相談支援事業「ころまっぶ」を継続して運営します。

(3) IT事業本部 トータル情報処理セ

ンター(事業部、職能開発室、デジタルメディアセンター)

事業本部下の連携を継続し安定した事業運営に努力しています。法人内ではICT(情報処理および情報通

コロニーとうきょう前号(V01・165)の「2017年度事業報告」の記載に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます。

P・24 4 段目 4. (2) 6 行目

(誤) 契約者・登録者(表1…参考

資料)1, 321名を加える

と2, 132名の人達に責任を負う組織となりました。

(正) 契約者・登録者(表1…参考

資料)1, 268名を加える

と2, 079名の人達に責任を負う組織となりました。

P・24 4 段目 4. (3) 3 行目

(誤) 障害福祉サービスの在籍者

以外の方を含めると一般就

職者は56名となりました。

(正) 障害福祉サービスの在籍者

以外の方を含めると一般就

職者は77名となりました。

P・25 表1. 参考資料…「在籍者の推移」に含まれない人員状況

(誤)

2017年度末及び2017年度 (単位:人)			
登録・契約障害者	一般就職者	トライアル雇用者等	一般就職者累計
福祉事業本部 (短期入所、移動支援、居宅介護等)	219	—	—
中野障害者計画相談支援室 「ころまっぶ」	*3 152	—	—
IT事業本部 (在宅教育修了生、職業紹介登録者等)	31	*1 5	—
コロニー中野 (委託訓練修了生)	—	*2 0	—
東村山市障害者就労支援室	474	41	—
コロニー障害者計画相談支援室 「ふきのとう」	*3 214	—	—
アートビリティ	*4 200	—	—
東京都葛飾福祉工場 障害者計画相談支援室	*3 31	—	—
計	1,321	46	0 475

(正)

2017年度末及び2017年度 (単位:人)			
登録・契約障害者	一般就職者	トライアル雇用者等	一般就職者累計
福祉事業本部 (短期入所、移動支援、居宅介護等)	219	—	—
中野障害者計画相談支援室 「ころまっぶ」	*3 152	—	—
IT事業本部 (在宅教育修了生、職業紹介登録者等)	31	*1 5	—
コロニー中野 (委託訓練修了生)	—	*2 0	—
東村山市障害者就労支援室	411	62	—
コロニー障害者計画相談支援室 「ふきのとう」	*3 224	—	—
アートビリティ	*4 200	—	—
東京都葛飾福祉工場 障害者計画相談支援室	*3 31	—	—
計	1,268	67	0 496

表2 参考資料：「在籍者の推移」に含まれない人員状況

2018年度上半期末および上半期中人数

(単位：人)

	登録・契約障害者	一般就職者	トライアル雇用者等	一般就職者累計
福祉事業本部 (短期入所、日中一時支援、移動支援、居宅介護等)	226	—	—	
中野障害者計画相談支援室 「ころまっぷ」	*3 123	—	—	
IT事業本部 (在宅教育修了生、職業紹介登録者等)	25	*1 3	0	
コロニー中野 (委託訓練修了生)	—	*2 0	0	
東村山市障害者就労支援室	316	32	0	
コロニー障害者計画相談支援室 「ふきのとう」	*3 113	—	—	
アートビリティ	*4 200	—	—	
東京都葛飾福祉工場 障害者計画相談支援室	*3 29	—	—	
コロニーもみじやま支援センター (短期入所、日中一時支援)	55	—	—	
もみじやま障害者計画相談室	*3 35	—	—	
計	1,122	35	0	*5 531

*1 在宅教育修了者からの一般雇用 2人、職業紹介事業からの一般雇用1人

*2 「東京しごと財団」委託訓練修了者からの一般就職者

*3 計画相談契約者数

*4 契約者以外の作品利用が行われた数も含めているため概数としている。

*5 在籍者以外で2007.4～2018.9に当法人で就職をサポートした人の累計

信)技術等を介して各事業所に関わり、ネットワーク委員会などをつうじて横断的に役割を果たしています。IT関連の事業面では、顧客への丁寧な対応や技術力を活かし既存顧客の深耕ならびに新規顧客の獲得などに努力しています。

障害福祉サービスの制度で対応できない領域においては公益事業により取り組んでおり、対外的には高い評価を得ています。社会環境の変化を見極めながら、様々な可能性を模索していくこととします。民間のハローワーク業務の認定法人の事業として、また、受託事業である東京都障害者IT地域支援センターの事業を継続し役割を果たしています。

(4)社会就労事業本部(コロニー中野、中野区仲町就労支援事業所、コロニーもみじやま支援センター、コロニー東村山、トーコロ青葉ワークセンター)

中野地区では、コロニー中野の老朽改築が完了し、指定管理事業所では管理・運営の充実を目指しています。その内、中野区中野福祉作業所は前年度末に廃止され、社会福祉施設等施設整備補助事業により創設した

「コロニーもみじやま支援センター」が新たに事業開始しました。三多摩地区では、東村山市障害者就労支援室や特定相談支援事業「ふきのとう」、放課後等デイサービス事業「アリーバ」での役割を発揮するとともに、既存事業の運営では福祉サービスのさらなる向上を目指し、就労支援事業においては、品質管理や生産性・収益性の確保に努力しているところです。

(5)福祉工場事業本部(東京都葛飾福祉工場、東京都大田福祉工場)

いずれも民営化後の受注確保には厳しさを伴っていますが、鋭意努力しているところです。東京都葛飾福祉工場(金町工場)では、建て替え後に開始した屋内水耕栽培事業の安定化を目指し、また、主幹事業においては堅実な運営に努めています。東京都大田福祉工場は印刷事業では昨年並みを維持し、建て替えについては、東京都の民間移譲施設整備補助事業により、本年度6月には第一期工事が竣工し、城南島工場からの移転を無事に終えることが出来ました。旧宿舍棟の第二期工事に関しては東京都と協議しながら順次進める予定です。

表3 法人単位貸借対照表

第三号第一様式(第二十七条第四項関係)
(単位:円)

2018年9月30日現在

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	4,039,213,031	5,547,654,101	-1,508,441,070	流動負債	1,416,542,287	2,687,774,858	-1,271,232,571
現金預金	2,551,239,954	2,313,195,065	238,044,889	短期運営資金借入金	250,000,000	250,000,000	
事業未収金	850,182,178	1,410,042,694	-559,860,516	事業未払金	662,417,557	1,592,945,932	-930,528,375
未収金	7,578,979	17,843,678	-10,264,699	その他の未払金	20,588,912	395,361,104	-374,772,192
未収補助金	12,186,753	1,285,604,014	-1,273,417,261	1年以内返済予定設備資金借入金	30,880,000	176,802,947	-145,922,947
受取手形	60,285,047	136,228,091	-75,943,044	1年以内返済予定長期運営資金借入金	1,200,000	1,200,000	
貯蔵品	2,249,514	2,221,087	28,427	1年以内返済予定リース債務	91,638	1,536,960	-1,445,322
商品・製品	274,268,469	283,339,800	-9,071,331	1年以内支払予定長期未払金	7,343,134	14,289,720	-6,946,586
仕掛品	25,996,050	17,997,334	7,998,716	未払費用	35,785,906	55,158,360	-19,372,454
原材料	22,825,400	24,509,364	-1,683,964	預り金	43,952,631	58,144,512	-14,191,881
立替金	27,964,500	45,481,522	-17,517,022	職員預り金	23,341,535	16,513,277	6,828,258
前払金	102,857		102,857	前受金	39,141,425	23,152,617	15,988,808
前払費用	18,428,934	13,284,039	5,144,895	仮受金	546,600		546,600
仮払金	32,732,881		32,732,881	賞与引当金	136,859,372	96,493,968	40,365,404
徴収不能引当金		2,092,587	-2,092,587	未払税金等		6,175,461	-6,175,461
仮払消費税	153,171,515		153,171,515	仮受消費税	164,393,577		164,393,577
固定資産	5,655,992,043	5,557,698,875	98,293,168	固定負債	1,007,076,170	1,209,874,090	-202,797,920
基本財産	3,531,298,380	2,958,532,334	572,766,046	設備資金借入金	438,080,000	633,880,000	-195,800,000
土地	740,870,327	740,870,327		長期運営資金借入金	50,000,000	50,000,000	
建物	3,581,490,770	2,949,274,761	632,216,009	リース債務	1,060,710	506,100	554,610
建物減価償却累計額	791,062,717		791,062,717	退職給付引当金	482,408,746	494,255,751	-11,847,005
減価償却累計額△		731,612,754	-731,612,754	役員退職慰労引当金	2,822,784	2,602,254	220,530
その他の固定資産	2,124,693,663	2,599,166,541	-474,472,878	長期未払金	32,703,930	28,629,985	4,073,945
土地	370,208,544	370,208,544		負債の部合計	2,423,618,457	3,897,648,948	-1,474,030,491
建物	673,838,133	768,690,360	-94,852,227	純資産の部			
構築物	133,559,399	119,540,246	14,019,153	基本金	300,915,620	300,915,620	
機械及び装置	881,121,664	931,997,883	-50,876,219	基本金	300,915,620	300,915,620	
車輛運搬具	64,527,492	64,150,181	377,311	国庫補助金等特別積立金	2,799,441,019	2,655,474,340	143,966,679
器具及び備品	288,302,671	278,930,955	9,371,716	国庫補助金等特別積立金	2,799,441,019	2,655,474,340	143,966,679
建設仮勘定		456,349,114	-456,349,114	その他の積立金	838,092,698	876,798,698	-38,706,000
減価償却累計額△		1,589,200,529	-1,589,200,529	その他の積立金	22,368,874	61,074,874	-38,706,000
建物減価償却累計額	373,828,315		373,828,315	施設整備等積立金	30,000,000	30,000,000	
構築物減価償却累計額	47,279,312		47,279,312	移行時特別積立金	785,723,824	785,723,824	
機械及び装置減価償却累計額	782,111,107		782,111,107	次期繰越活動増減差額	3,333,137,280	3,374,515,370	-41,378,090
車輛運搬具減価償却累計額	56,864,396		56,864,396	次期繰越活動増減差額	3,333,137,280	3,374,515,370	-41,378,090
器具及び備品減価償却累計額	184,150,832		184,150,832	(うち当期活動増減差額)	-80,084,090	-136,912,171	56,828,081
権利	429,500	429,500					
ソフトウェア	14,710,746	14,949,829	-239,083				
退職給付引当資産	296,534,857	296,367,228	167,629				
その他の積立資産	838,092,698	876,798,698	-38,706,000				
差入保証金	1,479,860	1,619,860	-140,000				
長期前払費用	150,391	81,178	69,213				
その他の固定資産	7,722,425	8,253,494	-531,069				
徴収不能引当金	1,750,755		1,750,755	純資産の部合計	7,271,586,617	7,207,704,028	63,882,589
資産の部合計	9,695,205,074	11,105,352,976	-1,410,147,902	負債及び純資産の部合計	9,695,205,074	11,105,352,976	-1,410,147,902

法人の主な動きから

「東京都大田福祉工場」 新築工事完了

昨年4月に着工した新施設新築工事は、途中予想外であった地中埋設物の撤去、広範囲な土壌汚染の改良という事態に遭遇し、予定の工期より遅れて本年6月に竣工することができました。その後、城南島工場からの印刷・製本機械の移設、旧施設からの引越を経て7月初旬に新施設にて事業を開始しました。

建物は明るい色調の部材を使用し、効率的な作業動線を考慮した設計となっており、また施設内は聴覚過敏の特性がある利用者への配慮や、住宅地に立つ工場ということもあり防音や耐震性などが十分に考慮されています。また8月には開所式を挙行し、東京都福祉保健局、大田区をはじめ多くの方々のご列席、ご挨拶を賜り喜ばしい門出となりました。



1階 第1製本室 新規導入の無線綴じ製本ライン

新施設完成により、当事業所の基幹生産活動である印刷事業は実に34年ぶりに単一工場による操業となりました。この統合は非常にメリットが大きく、従来からの課題であった部門間の意思疎通の課題も改善しつつあり、円滑な業務推進に結び付いています。一

方、統合に伴う生産ラインの一部縮小、製品保管スペースの狭小化の現実もあり、より生産ラインの効率的運用が今後の大きな課題となっております。

障害福祉サービス事業は新施設使用開始に伴い総定員を8月1日より60名から80名に増員しました。就労移行支援事業は以前の6名から10名へ増員しましたが、8月中にはすでに満員の状況になりました。就労継続支援B型事業も24名から40名に増員し、年度内に定員の充足を目指しております。さらに10月1日からは現行の3事業に加え、新たな障害福祉サービスとして就労定着支援事業が東京都から認可を受け開始しています。

大田福祉工場の施設整備計画はまだ途中にあります。平成31年度中に、東京都により現在進められている宿舍棟の解体工事が完了した後、その跡地の一部に法人主体で行う駐車場や庭園などの建設を中心とした外構工事の完成をもって、平成32年7月に終了する予定です。



2階 就労継続支援B型作業室

今後、大田福祉工場は、就労支援活動の充実と福祉施設としてよりよいサービスの提供を通し、地域とお客様に選ばれる事業所へと成長していきたいと考えております。

本事業にあたって大きなご支援を頂いた葛飾福祉工場の皆様、東京都福祉保健局、建築にあたって設計、施工担当の方々に心より感謝いたします。

東京都大田福祉工場 製造課長（就労継続支援A型サービス管理責任者）

新井康弘

〈施設概要〉

施設名称：東京都大田福祉工場

所在地：東京都大田区大森西2丁目22番26号

敷地面積：2,306.09㎡

建築面積：851.44㎡ 延面積：1,996.19㎡

事業内容：障害福祉サービス事業

（就労移行支援（定員10名）、就労継続支援A型（定員30名）、就労継続支援B型（40名）、就労定着支援）



就労定着支援事業の開始

2018年4月1日に医療・介護・障害福祉の報酬改定がなされ、新たに「就労定着支援」「自立生活援助」「居宅訪問型児童発達支援」の3つのサービスが制度として加わることになりました。当法人では2018年度下半期より東京都大田福祉工場とコロニー東村山にて就労定着支援事業を開始しました。

これまで就労移行支援サービスにおいては、就労移行の実績及び移行後の定着実績について体制加算として評価されてきました。この事業で大切なこととして、就職することとさることながら、就職した後もやりがいをもって仕事に臨み、生活の安定を図り、充実した人生を送っていただくことを重視すべきとの方針を持ち、単に就職支援だけでなく就職を継続していくのに必要な環境を整えるなど生活面での支援も行ってきました。

新しい制度はそのことを目的とした事業体系になったわけですが、課題も残っています。就職後6か月は従来の就労移行支援サービスにてフォローし、その後3年間の支援を就労定着支援サービスで提供することになります。就職後1年を経過すると収入も安

定しは始める時期を迎えますが、それに伴い多くの方がサービス利用に自己負担が生じることになります。また既に就職されている方も含め、本サービスを利用するためには改めて障害福祉サービスの受給者証を取得していただく必要が生じます。

様々なサービス提供に対して自己負担金が生じる点については、障害者自立支援法を検討してきたグランドデザイン案の段階から問題視する多くの意見が出され、ILO159号条約違反問題や障害者権利条約における位置づけなど、現在もなお各加盟団体を通じて意見出しをしているところではありますが、一方では自己負担をしても受けたいようなサービスの質が求められていることも事実です。

就労定着支援サービスという新たな事業を通して、充実した社会生活を支援できるよう、さらなる努力をしていく所存です。

事務局長 井上忠幸

新谷正義厚生労働大臣政務官が東京都葛飾福祉工場をご視察

2018年11月2日、新谷正義厚生労働大臣政務官が東京都葛飾福祉工

場金町工場をご視察され、全ての職場をつぶさにご覧になりました。

作業の場では、利用者さんに温かいご挨拶をいただき、屋内水耕栽培設備のレタス工場にも強いご関心をもつていただきました。在宅就労の障害者従業員とは、TV会議システムを通して、ご自身でもヘッドホンを装着され、言葉を交わされました。

意見交換の場では、穏やかにさまざまなご質問をいただきました。

予定時間をオーバーされながらも、熱心にご見学いただき、障害福祉サービス事業へのご理解をいただいた一日となりました。

東京都葛飾福祉工場所長 鬼頭克介



支援2課での作業風景をご視察

とぴくす

T O P I C S

コロニー中野

ふたたび、地域の一員として

10月6日の土曜日、建て替え後初の、そして第23回目のコロニー祭りを開催しました。

実はこの第23回というのがあやふやで、あちこちで聞いたところ、事業所の近くでアパート暮らしをしている車椅子を利用する先輩から、コロニー東村山が始めたコロニー祭りに倣って始めたのがきっかけだと教えられました。この先輩、第一回の実行委員だったそうで、当時は、東京コロニーの事業目的でもある「完全参加と平等」



が掲げられた国際障害者年（1981年）の頃だったとのこと。何のノウハウもない中、近くの公園を借り、社会参加の意図を持つての開催は、いぶんな苦労があったのだろうと想像します。

それから三十数年が経った今年、実行委員会でのテーマは「帰ってきた！コロニー祭り」。昨年は仮移転先での祭りだったため、この場所では2年ぶりになります。車椅子を利用する仲間を実行委員長に、地域の人たちに新しい事業所を見てもらおう、コロニー中野の事業を知ってもらおうと、各フロアでの展示・販売を基本とするかつてない規模で企画しました。結局、規模を大きくしすぎて人手が足りず、他の事業所の人たちの力も借りての開催となりましたが、予想をはるかに超える人数のお客様に来ていただき実行委員会としては大満足です。

実はコロニー中野の祭りはいつのころからか、江古田地区まつりの一環として開催されています。地元のフラダンス教室の方たちにボランティアでステージ参加してもらうなど、新しい試みも好評でした。これまでそうであつたように、これからも地域の方たちと連携し、地域の一員としてやっていきます。

支援課 中村浩文

中野区仲町就労支援事業所

待ちに待った宿泊訓練

今年の宿泊訓練は千葉。鴨川シーワールドとマザー牧場、温泉を楽しむプランです。皆さん楽しみにしている宿泊訓練ですが、当日の天気予報は一週間前から雨。ずっと雨だった昨年の苦い記憶がよみがえります。

10月18日事業所付近からバスで出発。まずは鴨川シーワールドに到着し、バイキング形式の昼食をそれぞれ楽しみました。鴨川シーワールドはショーが充実していて途切れることなくイルカやシャチ、アシカのショーが見られます。シャチのショー会場に着くと客席はプールから離れたところから埋まっています。プールに近いほうがよく見られるのではと思ひ、プールに近い客席を見ると「大量の水がかかることがあります」との張り紙が。できるだけプールから離れた客席に座りショーの観賞です。ショーが始まるとシャチがすごい水しぶきをあげて客席を水浸しにしていきます。それを覚悟の上でポンチヨを被りプールに近い客席に座っているお客様も。度胸があるなと思ひっていると仲町の利用者さんでした。



宿泊はかんぽの宿鴨川です。宿についてからは温泉に入ったり、ゆっくりくつろいだり思い思いに過ごしてもらい、夕食後は恒例の〇×クイズです。10問出題し、正解数トップは9問の方でした。

二日目はマザー牧場へ。シーブショーや、子豚のレース、うさぎやモルモットとのふれあいコーナーなど広い敷地にはたくさん体験できることがあります。遊園地やお花畑、バンジージャンプまであります。バンジージャンプをやる人はいないだろうと予想していたのですが、なんと体験者が。すごく楽しかったそうです。帰りのアクアラインで事故渋滞に巻き込まれるというアクシデントはあった

ものの、ほとんど雨にも降られず楽しむことができました。

支援課 今井良志見

コロニーもみじやま 支援センター

新施設で初めての宿泊訓練

11月15日から16日に、宿泊訓練で群馬サファリパークと埼玉県立川の博物館へ行きました。コロニーもみじやま支援センターを開設して初めての宿泊訓練で、生活介護事業では重度心身障害のある方も利用を開始し、これまで経験してきたものとは異なるニーズも出てきています。今年度は「余裕があるタイムスケジュールで、なおかつ皆さんが楽しむことができる宿泊訓練」を目指しました。

群馬サファリパークでは、動物園とは違って生き生きとした動物たちを食い入るように見ている方、怖いと言って顔を伏せる方、さまざまでした。生活介護ではプログラムで事前に図書館へ行って動物の図鑑でゾウやライオンを見た方もいたそうです。

天気にも恵まれて、宿からは蓑山の紅葉が一望できて印象的でした。夜には温泉までの道すがら、建物内のクリ

スマスツリーのイルミネーションを窓から見ることができました。

夕食後の宴会ではビンゴ大会をしました。ビンゴになった人からカラオケを歌うというルールにしました。『恋するフォーチュンクッキー』や『アイアイ』など知っている曲が流れると、歌っている人の周りに集まって一緒に歌いながら踊って大盛り上がりでした。中には、ビンゴもそろわないし歌えなかったと悔しがる方もいましたので、歌いたかった曲を私の携帯で流すと気持ちよさそうに歌ってくれ



ました。最後に「同じ部屋で良かった」とこっそりと話してくれて嬉しかったことを覚えていきます。

二日目は直径23メートルの大水車が特徴の川の博物館に行きました。班ごとに体感シアターを観覧したり、展示や広場を散策したりとゆったりと楽しめました。

一泊二日の旅程を事故なく終えることができました。皆さんに楽しんでいただけました。

就労支援課 勢登春香

コロニー東村山

揃いのTシャツで

ティーボール大会に参加、 結果は？

11月10日（土）に開催された第20回関東健康福祉ティーボールオープン大会に、今年も参加しました。

今年はチームの団結と士気を高めるべく、コロニーチームのオリジナルTシャツを作りました。白地に首肩周りと腕の部分が緑のTシャツ上に、コロニーのロゴや背番号のプリントをアートビリティに依頼し作成されたものです。

当日、このTシャツを着用し、2試



合連続で挑みましたが、対戦相手チームがどちらも守備・打撃ともに安定していてレベルが高く強豪で、コロニーチームも大健闘し得点差を打戦で縮めました。惜しくも勝利する



製造部DTP係 渡辺 浩

ことができませんでした。
試合では負けたものの、汗ばむ程の陽気の中、参加された方々は皆ケガなく笑顔で本当に楽しくプレイされていて、勝ち負け以上にそれが一番大事なことで、何より良かったと思っています。
また、当日は女子プロ野球団「埼玉アストライア」の選手も見えており、バッティングの指導を受けたり、他の参加チームより声がかかり交流試合という形でもう1試合させていたなど、例年以上に充実した内容だったと思います。
来年こそは勝利をして結果を持ち帰ることができるよう頑張りたいと思います。

トーコロ青葉ワークセンター

日帰り旅行記

上野公園・浅草ビューホテル

スカイツリー

朝、目覚めるとナント雨。昨日までのお天気とは裏腹に。午後から雨という予報も見事に外れてしまいました(泣)。それでも止んでくれることを願いつつ気を取り直しますが、トーコロ青葉ワークセンターからバスの待つ全生園に向かう頃には雨は本降りになってきました。でも一日楽しむことを忘れずに、さあ出発です!!
出発してすぐに、雨の影響からか道路はまさかの大渋滞。首都高に乗っても状況は変わらずで、上野動物園の到着が一時間以上遅れることになりました。ようやく上野公園の近くまで辿り着きましたが、バスの駐車場が満車で止めることができません。修学旅行シーズンと重なったこともあり、上野公園の周りを2周することになりました。バスの中では『どうして止まらないの?!』と心配する声が上がりました。ようやく駐車してやっと降りることができた頃には、あんなに降っていた雨が上がった行いの良さですね。ということ、



園内では傘をささずに周ることができました。このお天気でも人気のシャシヤンには90分待ちの行列ができていて、滞在時間を考えると並ぶことは無理なので泣く泣く諦めることとなり、入口から近い動物たちを見て回りました。
次はお待ちかねの昼食です。再びバスに乗り込み浅草ビューホテルへ。昼食は和食御膳で、和風ステーキもあります。上品な味付けでなおかつポリウムもあってお腹いっぱいになりました。
次は最後の見学地、高さ634メートルのスカイツリーへ向かいます。高速エレベーターに乗り、50秒で350メートルの展望デッキへ上がるこ

ができます。しかしエレベーターを降りるとそこは真つ白の雲の中。富士山が見えるような視界は開けていまでもでしたが、雲の中に包まれている感じが味わえました。



今回の旅行はあいにくの雨天となりましたが、バスの中ではいつものようにカラオケを楽しんで、動物を見て癒され、美味しい物を頂いて秋の一日を満喫してきました。

支援課3係 旅行委員 出口彩子

デジタルメディアセンター

日々進化するIT・WEB業界

2018年11月21日よりデジタルメディアセンター(以下DMC)で勤務することになりました佐々木と申します。趣味はアジア旅行と筋力トレーニング、時々お酒です。

さてDMCはオープン系、WEB系システムの開発からWEBサイト制作を行っています。私は主にデザインを起こしたりWEBサイト構築したり、といった内容を担当しています。

WEB業界は約30年程度のまだまだ新しい業界です。まだまだ知名度が低い業界でもあります。しかし技術などの進歩はめまぐるしく発達しています。

少し前までの技術も今では非推奨となったり、動作しなかったりすることも多々あります。例えばFLASHと言う技術も古い技術になってしまいました。他にも昔はインターネットでホームページを見るというのは自宅や会社が一般的でした。電話回線を使ってインターネット通信をすると言う時代もありました。それがたった30年でスマートフォン、タブレットの小型の端末が登場し、外でもホームページを閲覧したり買い物したりできるようになってきました。

DMCサイトについてもそのFLASHを未だに使用したサイトとなっています。現在リニューアルを検討しており、スマートフォンに対応したサイトにする想定です。

WEB制作は、全世界共通でHTMLやCSSと言う言語が書ければサイトを構築することができます(もち

ろん私の好きなアジア各国でも)。また技術も常に進歩しているので、筋力トレーニング同様常に経験や技術を積み重ねていかなければなりません(最近では以前よりもトレーニングのモチベーションが低迷していますがこれから亀のスピードで日々精進します)。また私的ではありますがWEB業界はパソコン作業がメインになつてしまつたため対人関係が希薄になつてしまいがちなので仲間とのコミュニケーション(飲みの席)も大切にしていきたいと思っております。

常に学び時代にあわせて技術を発揮していくことがこの我々の業界の宿命であります。もつと便利に人に伝わるデザインやシステムを構築、制作していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

デザイン制作係 佐々木 俊

東京都葛飾福祉工場

ホワイト餃子を食べに行ってきました!

ある従業員の「ホワイト餃子食べてみたい」という一言から、「支援部の皆で食べに行こうか」となり今回の企

画となりました。ホワイト餃子を食べたことがある人からは「皮がモチモチしていて独特な餃子!揚げ餃子に近いよ!」と聞いて、利用者さんもホワイト餃子は食べたことがないが餃子は好き!という人が多く、皆とても楽しみにしていました。

平成30年11月22日(木)『ホワイト餃子 亀有店』へ総勢30名で、支援1課は青砥駅からバスに乗り、支援2課は金町駅から電車に乗り、お店で合流しました。今回は公共交通機関を利用し、自分の食べたい物を注文し、個々に会計することが目的です。(お店は平日の昼間であれば、座席の予約は可能とのことでしたので、事前に予約し、会計についても個々での支払いをお願いしておきました。)これまでに支援1課で近隣のレストランへ食事に行くことはありましたが、支援2課と一緒にこの企画は初めてでしたので、久



しぶりに顔を合わせる楽しみもありました。

メニューは揚げ餃子、水餃子、ライス、キムチ、搾菜等の中からそれぞれ選び、洪くキムチを注文している利用者さんもありました。注文後はワイワイおしゃべりをしていましたが、食事が届くと一瞬で静かになり皆真剣です。一言もおしゃべりすることなく食事です。食べ終わった後には「おいしかった!」「また食べにきたい!」等、皆満足そうでした。しかし、会計では一度にレジに並んでしまい、他のお客様にご迷惑をかけてしまったので、次回は気をつけたいと思います。

帰りのバスの中で、次回は運動がてらに歩いて立石工場へ戻るのはどう



だろうという意見がありました。運動不足な利用者さんのためというより従業員のため…ということになります。

支援部 支援1課長 澤地かおる



東京都大田福祉工場

日帰り旅行・マザー牧場： あいにくの雨でしたが

10月6日、大田福祉工場のB型と就労移行のメンバーでは初のバス旅行でマザー牧場に行きました。あいにくの濃霧と雨（つまり雲の中状態）で30m先もよく見えない状況で写真も撮れなくて残念でしたが、みんな、それなりに楽しめたようです。

二人のメンバーに感想を書いてもらったので原文をそのまま掲載します。

就労支援課長 鶴田雅英

*

10月6日（金）に日帰り旅行INバス旅行にて、マザー牧場に行きましてジンギスカンを沢山食べて美味しかったです。

お土産も買ったし、羊のショーも見たり、大雨の中、遊ぶ事が出来なかったのが残念でした。

楽しい思い出ができました。みんなと楽しめた事が一つの願いが叶いました。トコロに一度申し上げます。

就労支援係 工藤和弥

*

日帰り旅行にバスでマザー牧場まで行きました。バスの中では、お菓子が

配られたり、バスガイドさんが丁寧に説明をしてくださったりしました。

マザー牧場は当時参議院議員だった前田久吉が1962年に開設したものであり、「マザー」の由来としては生家が貧しい農家であった前田の母親が「家に牛が1頭でもいたら暮らしはずっと楽なのに」と口癖のように言っていたのが心に残り、母にささげる牧場という事で名づけられたという事です。

東京湾アクアラインの海ほたるパークキングエリアで休憩をし、たくさんあるおみやげ屋さんで試食させていただきました。そして、マザー牧場に到着し、まず昼食をとりました。昼食はジンギスカンでした。私は肉が大好きなのでたくさん肉が食べられてとても幸せでした。その後、自由行動でおみやげを買いました。その後、アイスクリームを買いました。アイスクリームはチョコとミルクのミックスを買いました。とてもおいしかったです。その後あひるを見て、羊の毛刈りのショーを見ました。いろいろな羊がいるのだなあと思いました。子羊も出てきてとてもかわいかったです。帰りはバスでカラオケをしました。たくさん歌えて、幸せでした。とても楽しい一日でした。

就労支援係 片桐沙弥

福祉事業本部

防犯カメラ・人感センサー設置 及び防犯対策を対象とした 避難訓練実施

このたび福祉事業本部では、外部からの不審者の侵入に対する危機管理の観点から、記録保持および抑止効果による防犯対策を講じてグループホームの入所者・利用者の安全を確保するために、中野区障害者施設防犯緊急対策事業への補助金を申請し、中野第二江原寮（えはらハイツ）に防犯カメラ2台と人感センサーを



設置しました。防犯カメラは、侵入者を正面・斜めから撮影できる場所に設置し、人感センサーは、侵入者を威嚇する目的もあり設置しました。

この機会に、日頃から緊急時に対応できるようにするため、不審者侵入に対する避難訓練を11月7日にグループホームとしては初めて「えはらハイツ」で実施しました。訓練開始時間は、日中活動サービスを利用して入居者の方も参加できるように夕方の時間に設定したにもかかわらず、夕食の時間を少し遅らせてもほとんどの入居者の方が参加されました。

訓練は、計画に沿って実施されたこともあり大した混乱もなく終了しましたが、居住空間での複数の避難経路の安全対策等さらなる強化に向けて改善すべき点も見つかりました。また、グループホームの配置スタッフは少数の為、不審者への対応（防衛等）で役割分担を見直す必要があること、防御するための優れた防犯用品の備えが必要なのも分かりました。何よりも今回の訓練を通して入居者の方の危機意識の高さを伺うことができて、改めて避難訓練の重要性を実感しました。

事件・事故はいつ、どこで発生するか全く予想できず、特に不審者侵

入による事件・事故はなおさらのことです。このような不測の出来事から入居者の方・スタッフを守るために、これからも避難訓練を実施していきたいと思っています。

総務経理課長 田村智美

避難訓練実施計画【不審者・火災対応】 (中野第二江原寮)	
1 ねらい ○グループホームに入所者が侵入し放火した場合、利用者が安全に避難できるように支援員が避難経路に適切な対応が可能なように訓練を行う。 ○緊急事態が発生した場合の安全な避難行動について利用者の指示・連絡を正確に聞き取り、速やかに避難することができるよう訓練を行う。	その場限りに放水して退避する。 ○夕食を準備している支援員が、不審者が放火しているように不審者1人が1階に侵入し放火して退避しました。 「不審者が1階に侵入し放火して退避しました。」
2 日 時 平成30年11月 7日（水） ※雨天の場合は順延および利用者の心身の状況を考慮した場合の順延はあります。	○不審者は2階の支援員にも連絡する。 「不審者が1階に侵入し放火して退避しました。すでに1階の支援員にも連絡して下ろす。」
3 場 所 グループホーム1 階廊下の窓から侵入者が侵入し、通気口火を付けた避難経路を廊下に閉じ込められ、利用者が避難行動が困難な状況で行う。	○不審者は2階の支援員にも連絡する。 「不審者が1階に侵入し放火して退避しました。すでに1階の支援員にも連絡して下ろす。」
4 避難訓練時の役割分担 全職員・外見上不明の職員 : (班長) 林 幸雄 施設長・安全係 : (班長) 林 幸雄 避難経路・安全係 : (班長) 林 幸雄 不審者の対応 : (班長) 林 幸雄 応急手当・医療機関等対応 : (支援員) 前田 万智子・植地 清恵・川俣 美智子 電話対応・記録 : (班長) 林 幸雄 安全確認・全館確認 : (班長) 林 幸雄 安全確認・応急 : (班長) 林 幸雄 安全確認・施設外確認 : (班長) 林 幸雄 侵入者 : (班長) 田村 智美	○不審者は2階の支援員にも連絡する。 「不審者が1階に侵入し放火して退避しました。すでに1階の支援員にも連絡して下ろす。」
5 訓練実施 ① PMS : 30 避難訓練開始 ○班長から避難訓練の開始を知らせる。 「今から防災の避難訓練を開始します。班長のいないよう訓練して下さい。」 ② PMS : 34 不審者侵入 ○不審者が1階廊下の窓から侵入し、通気口火を付けた避難経路を廊下に閉じ込められ、利用者が避難行動が困難な状況で行う。	○不審者は2階の支援員にも連絡する。 「不審者が1階に侵入し放火して退避しました。すでに1階の支援員にも連絡して下ろす。」
③ PMS : 32 不審者の発見 ④ PMS : 33 不審者への対応 ⑤ PMS : 34 119 通報(人命救助) ⑥班長は消防署へ連絡する。その場限りに放水し、避難経路に閉じ込められ、利用者が避難行動が困難な状況で行う。 「不審者が1階に侵入し放火して退避しました。すでに1階の支援員にも連絡して下ろす。」	○不審者は2階の支援員にも連絡する。 「不審者が1階に侵入し放火して退避しました。すでに1階の支援員にも連絡して下ろす。」
⑦ PMS : 35 避難開始 ⑧ PMS : 40 安全確認 ⑨ PMS : 45 避難訓練終了 ○班長から避難訓練の終了を知らせる。 「これで避難訓練を終了します。お疲れ様でした。」	○不審者は2階の支援員にも連絡する。 「不審者が1階に侵入し放火して退避しました。すでに1階の支援員にも連絡して下ろす。」

アートビリティ Artbility ギャラリー 41



『雪だるま』

田辺 綾子さん

障害者アートバンク（アートビリティ旧称）時代からの登録作家である田辺さんは、多くのユーザーから支持される人気作家です。

ほとんどの作品で人物を登場させています。

日常の何気ないワンシーンを切りとった作品や夢の世界を描いた作品など様々ですが、構図や衣装にセンスが光り、どれも一目で田辺さんが描いたと分かるくらい独創的で、とても魅力的なものとなっています。

本作品「雪だるま」に描かれた楽しそうな表情からは、笑い声が聞こえてきそうです。

子どもたちが雪遊びをしながら、歌い、踊り、自分たちが身に着けていたマフラーや手袋を雪だるまに着せ…。

白銀の世界に広がるあたたかい空気は、貴重な子ども時代的一幕です。

「思い出を呼び起こす」絵に限りませんが、芸術にはその力があります。

アートビリティにもそういった作品が多数あります。その力を秘めた作品たちをもっと多くの方達に観ていただくべく、事務局もより一層努力して参ります。

【作家プロフィール】

1971年生まれ。東京都在住。

1986年 明星学園卒業。

疾患による四肢体幹機能障害により、17歳の頃から車椅子生活となる。

1993年 「第5回障害者アートバンク(アートビリティ旧称)大賞」アサヒビール奨励賞受賞。

2002年 銀座・柴山画廊にて、個展「ある日のこと」開催。

2006年 「第18回アートビリティ大賞」日立キャピタル特別賞受賞。

2007年 「第19回アートビリティ大賞」大賞受賞。

2011年 詩集「詩人志望」出版。

2012年 吉祥寺 mono galleryにて、田辺 綾子作品展「これからも」開催。

2013年 スペイン個展「DE AQUI EN ADELANTE」開催。

2015年 詩集「コーヒー未満」出版。

■アートビリティ…障害者の所得支援を続けてきた社会福祉法人東京コロニーが、アートの分野で力を発揮する人材を後押しし、その才能を収入に結び付けるために始めた事業です。約200名の作家による約5,000点の作品が揃ったアートライブラリーとなり、年間約400点の作品が使用されています。

ご寄附のお礼

(2018年6月～2018年11月 総額 7,582 千円)

下記の皆様より、当法人に対してご寄附を賜りました。ご支援に対しまして心より感謝申し上げます。

2018年7月 マルイグループ福祉会 様

2018年10月 小池 誠 様

2018年7月 三菱商事株式会社 様

2018年10月 伊藤忠エネクス株式会社 様

2018年9月 株式会社サーフェイス 様

2018年11月 全国本田労働組合連合会 様

◎文中の写真はご本人の了解を得て掲載しています。

東京コロニーのホームページ



東京コロニー メインページ
<http://www.tocolo.or.jp/>



コロニー東村山
<http://www.colony.gr.jp/colonyhigashimurayama/>



コロニー印刷
<http://www.colony.gr.jp/>



デジタル メディアセンター
<http://www.dmc-net.jp/>



アートビリティ
<http://www.artbility.com/index.html>



東京都大田福祉工場
<http://www.tocolo.or.jp/oota/>



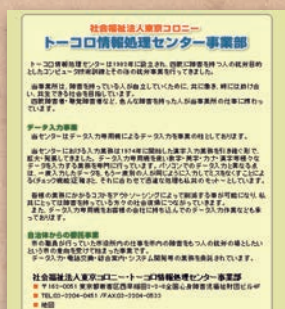
トーコロ情報処理センター機能開発室
<http://www.tocolo.or.jp/syokunou/>



トーコロ青葉ワークセンター
<http://www.colony.gr.jp/aoba/>



東京都葛飾福祉工場
<http://www.fireman21.net/>



トーコロ情報処理センター事業部
<http://www.tocolo.or.jp/joho/>



トーコロ生活支援センター
<http://www.tocolo.or.jp/seikatsu/index.html>



グループホーム
<http://www.tocolo.or.jp/grouphome/index.html>



中野区仲町就労支援事業所
<http://colony.gr.jp/nakatoyoshienn/>



コロニーもみじやま支援センター
<http://colony.gr.jp/momijiya/>



コロニー中野
<http://colony.gr.jp/colonymakano/>